

ふるさと講座・自然系 オジロワシ・オオワシ観察会のお知らせ！

ワシの他に、カモ類の渡りの季節で、たくさんの鳥たちが観察できます。とても欲張りな観察会です。ぜひ、ご参加ください。

●日 時 平成25年3月2日（土）
午前9時～12時

●場 所 風蓮湖・走古丹方面

●講 師 別海町郷土研究会 会長 渡辺 昇 氏

●集 合 郷土資料館へ9時までに集合

観察場所への移動は、当館で送迎しますが、自家用車での移動もできます。

●定 員 15名（2月4日（月）から受付を開始します。電話・FAX・メールにて氏名・電話番号をご連絡ください。）

●持 物 双眼鏡・図鑑（当館で若干貸出しします。）長靴を必ず着用ください。

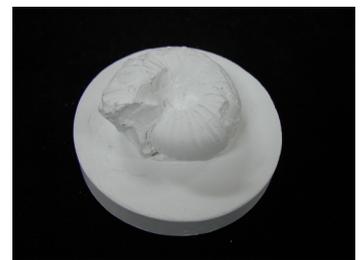


ウィンタースクール 「化石のレプリカを作ろう！」を実施しました。

●日 時 平成25年1月10日・11日
午後1時～4時

●場 所 別海町郷土資料館 研修室

●参加者 16名



別海町で発見される化石には貝やマンモスゾウの臼歯化石がありますが、人気のあるアンモナイトなどは、残念ながら別海町では発見されません。今年度のウィンタースクールは、郷土資料館に寄贈されたアンモナイトを活用し、化石のレプリカを作る講座を小学生対象に実施しました。

レプリカは、大小2個のアンモナイトを作成しました。あらかじめ作成しておいたシリコン製の型に石膏を流し込みます。10分程度でかたまり、型からはずしやすりなどで整形します。鉛筆・色鉛筆、絵具などで色を付け、リアルなレプリカが完成しました。参加してくれた小学生は冬休みの工作として出品するそうです。



近世の別海を探る 野付～その4～

ノツケ-3

○地勢・建物など

幕府が蝦夷地を直轄するようになり、ノツケに関する記録も多くなります。春のニシン漁には、根室地方の各地からノツケに集まり漁をすること、クナシリ島のほか各地へ向かう交通の要所であったことも下記に紹介する三時代の史料に共通するところです。

●幕府直轄時代 寛政 11 年(1799)～文政 3 年(1820)

・「…ニ至リ春漁ノトキハ「ノツケ」ニ至テ漁ス。…」、「クナシリ渡海口「子モロ」「ニシベツ」「ノツケ」等ヨリノ渡海口ナリ、…三月下旬ヨリ九月中旬マテハ休泊トナル。十一月ヨリ三月中旬マテハ潤一面堅氷トナル。」『東夷周覧』勝知文 享和元年(1801)

●松前藩復領時代 文政 4 年(1821)～安政元年(1854)

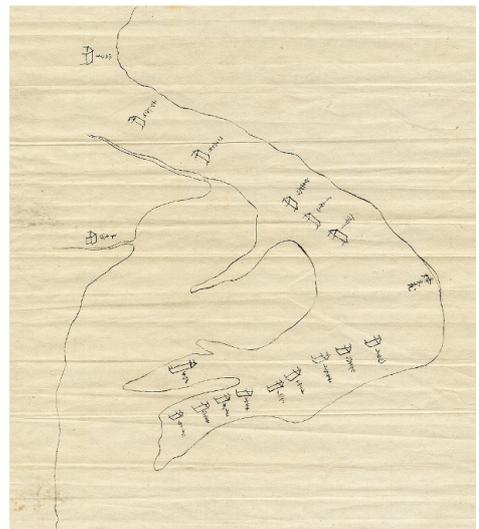
・「番家 「泊」 クナシリ江渡海八里程 シベツ江陸路三里半… 扱又、當所よりクナシリ江渡海場なれハ、波和合、亦は順風を見定渡るべし。尤、此崎の烽火〔ママ〕台より丑寅の針筋を航るは順当なりといへとも、汐路の出入亦は風の順により掛引心得有べし。」『蝦夷地名考并里程記』上原熊次郎 文政 7 年(1824)

●幕府再直轄時代 安政 2 年(1855)～慶応 3 年(1867)

・「ノツケ 此処よりトコタンえ海上三里 等両岸に見て着しける。此処地形は海中へ突出して平地海岸に小貝沢山有り。海扇・ホツキも多きよし。地味は別て悪けれども蕨・眉豆・水晶管・馬鈴芋能出来たり。又自然生の彭翁菜も多く生たり。クナシリ(五里)え渡り場にして、風待する爲に通行屋(百三十坪七合五勺、四十五坪三合)、板蔵三棟(七坪三合)、焚出し小屋(十二坪)、制札、弁天社を入湾様の処(え)建置、頗る風景宜敷、其外漁番屋又土人小屋も有、出稼の者多し。此処春漁宜敷よし也。其湾内蛤虫好。海扇・ホツキ其外小貝多し。また其通行屋は豹脚虫多くして甚難渋する也。」

『竹四郎廻浦日記』松浦武四郎 安政 3 年(1856)

・「…チマキ岬を廻り岸に沿うて行く。此處烽火台有り。両番家連立の辺より上陸し、一二丁にしてノツケ番家に至り止宿す。此処はネモ口領内にして番人家を守る。東に向いたる岬にして漁場多く、菜園有りて大根の類能く出来たり。麦も出来たるが掛けあるを見たり。西北に沼ありて帆立貝多し。貝のままもらいて火に炙りて喫するに味殊に美なり。」『東徼私筆』成石修 安政 4 年(1857)



『ノツケ地方海岸図』加賀家文書
野付半島にあった番家を示した図

別海町郷土資料館だより No.163

発行日 平成25年2月1日

発行所 別海町郷土資料館
別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

今年の冬はととても寒く風蓮湖の結氷も早かったようです。氷下待網漁もいつもより早く始められ、雑漁を狙った鳥たちが集結しているようです。先日郷土研究会との観察会でオジロワシ・オオワシを数えたところ 300 羽ほど確認出来ました。これだけの数は道内でもここだけです。(K.I)